

関東学院大学は、高校生の理系への興味を喚起する 啓発キャンペーンを開始します！ ～理系のおもしろさを伝え、未来を担う理系人材の育成へ～

2026 年 4 月に理工学部を改組・改編し、12 番目の学部として情報学部を新設する関東学院大学（横浜市金沢区、学長：小山 厳也）は、2025 年 5 月より、高校生を対象に、理系の学問分野への興味・関心を深めてもらうための啓発キャンペーンをスタートします。このキャンペーンでは、「社会は理系でできている。」をテーマに、高校生の日常生活と理系の学びや研究がどのようにつながっているのかを伝え、理系分野への進路選択を考えるきっかけとなることを目指しています。



理系のおもしろさを伝え、次世代を 担う理系人材の育成へとつなげる

近年、Society 5.0 の実現に向けて、デジタル技術を活用して社会や産業のあり方を変革する「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の重要性が高まっています。また、温室効果ガスの排出削減と経済成長の両立に向けて社会を変革する「グリーントランスフォーメーション（GX）」が求められています。GX の実現には、DX が必要です。つまり、デジタルの力を使って、気候変動対策や環境負荷の低減するための技術などを開発し、より持続可能で豊かな社会を作っていくことが求められています。

こうした未来を支えるには、最先端の科学技術を担う理系人材の育成が欠かせません。文部科学省でも理系分野への進学を促すさまざまな施策が進められており、理数教育の充実が重要な課題とされています。

このような社会の動きを踏まえ、関東学院大学では、DX、GXの視点から未来を担う高校生の皆さんに理系の学問の面白さや、社会とどのように関わっているかを体験できる機会を提供したいと考えました。今回のキャンペーンは、単なる大学の広報活動にとどまらず、次世代の人材育成に貢献することを目指しています。

高校生の日常に潜む理系の学びを、13 シチュエーションで展開



今回のキャンペーンはパンフレット、特設ウェブサイト、横浜駅での交通広告の掲出、を中心に展開していきます。

パンフレット： 私たちの日常生活を支えている理系の技術について、13 シチュエーションを例に紹介し、その技術が大学での研究とどのように繋がっているのか、技術が進歩した先の未来がどのように変革していくのかを紹介し、高校生が理系の技術を学ぶことを前向きに捉えることを目指した冊子を制作・配布していきます。高等学校内での文理選択前後の進路指導で活用することも想定し、分かりやすく、高校生の興味を引く構成となっております。パンフレットの送付を希望される高等学校は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

特設ウェブサイト： 本キャンペーンの中心となる特設ウェブサイトを開設。パンフレットを読んだ高校生が、大学での研究を具体的にイメージできるようになることを目的に、関東学院大学における学びや研究、技術が進歩した先の未来について、教員たちがコメントしたコンテンツを展開します。高校生が自身の興味関心に合わせて、様々な理系分野の学びや研究を見つけられることを期待しています。

特設サイト URL: <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/pre-science/>

交通広告（横浜駅）：各電鉄の横浜駅構内でデジタルサイネージ・ポスター広告を展開。
13 種類にわたる高校生の日常の風景と、その背景にある理系の知識や技術との関連性を視覚的に表現し、理系分野に興味をもってもらえるような広告を展開します。

<プロモーション概要>

掲出期間・掲出場所

- ・5/26（月）～6/1（日）：JR 横浜駅中央通路ライトアップシート、JR 横浜駅中央通路ゲートウェイピラー、相鉄横浜駅柱巻、東急横浜駅サイネージ、京急ステーションビジョン・横浜、横浜市営地下鉄横浜駅サイネージ、みなとみらい線横浜駅ビジョン、横浜駅みなみ通路サイネージ
- ・5/5（月）～6/1（日）：JAD ビジョン単駅横浜駅セット（中央通路・南改札）

※本件に関しまして、鉄道会社や駅係員へのお問い合わせはお控えください。

※広告をご覧になる場合は、周囲の安全への配慮をお願いいたします。

※掲載期間は予定であり、予告なく変更・中止となる場合がございます。

※改札内に入られる際は、入場券・乗車券をお買い求め下さい。

関東学院大学について

関東学院大学は、社会の変化に対応し、未来を切り拓く人材を育成するため、教育改革を進めています。2026 年 4 月には、理工学部を改組・改編し、12 番目の学部として情報学部を新設することで、関東学院大学の理系学部が理工学部、情報学部、建築・環境学部の 3 学部体制へと発展します。Society 5.0 の実現に向けて、デジタルトランスフォーメーション（DX）やグリーントランスフォーメーション（GX）といった未来社会の課題を見据えた教育を展開し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成していきます。

理工学部、情報学部、建築・環境学部それぞれが、PBL（Project-Based Learning）や企業・地域との連携を通じ、学生が実社会の課題解決に取り組む場を提供し、技術を創造・活用する力を養いながら、総合的な視点で持続可能な社会を構築するリーダーシップを発揮できるよう支援します。

関東学院大学理系 3 学部における「社会連携教育シンボルマーク」

「K-tech — Society 5.0 を見据えた DX・GX を中心とする社会連携教育」



Society 5.0 の中核となる「人間中心」「包摂性」「持続可能性」という価値観を教育に

反映させ、学生がデジタル技術や環境技術を活用して社会課題を解決する能力を育むことを目指す。これにより、DX と GX の両輪で、未来のスマート社会とグリーン社会を担う次世代の人材を育成する。

また、本学は文系・理系合わせて 12 学部を擁する総合大学であり、その強みを活かした文理融合教育を推進しています。複雑化する現代社会の課題解決には、分野横断的な視点と多様な知識・スキルの融合が不可欠です。本学では、学部・学科の垣根を越えた学びの機会を提供し、幅広い教養と専門性を基盤とした課題発見・解決能力を育成します。

関東学院大学 概要

1884 年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949 年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の 11 学部を設置する総合大学。

学生数 11,241 名（2025 年 5 月現在）学長 小山 厳也（こやま・よしなり）

本件に関するお問合せ先

関東学院大学 広報課 丸山 のどか

TEL : 045-786-7049

Email : kouhou@kanto-gakuin.ac.jp